

1 事業予定者（学校法人高木学園）からの挨拶及び説明

はじめに・・・

先般、公募に際し福岡市に対し事業計画の提案書として基本計画を提出しましたが、本日の説明会は、今後策定する実施計画のための方向性を現段階で地元自治会役員の皆様と、アクアコート対策委員会委員の皆様方とで確認しあう場として、またお互い初めて顔を合わせることににより今後信頼関係の構築に繋げていくことを主眼としたいと考えています。

公募～現在の検討状況

昨年12月7日、福岡市からの公募予定者決定通知を受けて現在までの開発事業計画に関する検討状況について簡潔に説明させていただきます。

事業予定者決定を受けた後、12月15日に自治連合会から市議会に対し、請願書が提出されたことに正直に申して驚きと、当惑を感じました。

但し、請願の内容は、建設反対或いは事業予定者の否認ではなく、高木学園が、一括して土地を取得し、高木学園が教育施設を、高邦会が病院と福祉施設を建設することが前提で、あとは景観や環境問題について住民の方々との話し合いの場を持つこと、また、医療関係者とは共存・連携できるよう専門的な協議を行うこととの趣旨であることが解り、今後行政関係機関とも十分協議し誠意をもって対応していく必要があると考えています。

公募段階の基本計画から実施計画を進めるにあたり、景観面や公開空地のデザインについて、百道浜に詳しいコンサルタントにお願いし、アドバイスをいただいています。さらに、福岡市建築局、都市整備局都市景観室に港湾局も加えた事前協議を今年に入ってスタートし、今後の景観アドバイザー会議、建築審査会に繋げていく予定にしています。これらの前提として自治連合会さらに地元住民の方々への説明・ご理解は必須であり、今回の説明会を初めとして今後、適宜諸問題について会合を重ねていきたいと考えています。

それでは、設計・建築に関するこれまでの検討状況について担当責任者より説明を行います。

（図面の説明）

次に公募段階の基本計画から病院の機能に関する検討状況についてですが、まず、建物規模約38,000㎡に対し199床のベッド数についての整合性について説明します。

一般的にこの規模の建物面積に対して、199床のベッド数では、異常に少なすぎる。将来的に500床規模の大病院を建てる目算がありはしないかとの疑問があるとの意見について現段階で回答したいと思います。

今般の病院につきましては、公募提案で計画しました教育・福祉施設の実習・バックアップ機能としてのリハビリテーション部門の充実と今後ますますニーズが高まるであろう予防医学の導入を柱にアメニティ即ち快適な入院環境の充実のために個室を中心としたものにしていきたいと考えています。入院患者一人当たりの病床面積は国の基準4.3㎡、一般的には8㎡で

も広いとされている病院に対し、現在検討している病院は個室面積を20㎡にして高い療養環境を求めていきたいと考えています。

さらに現在中央区長浜にある福岡国際医療福祉学院天神キャンパスに併設している大学院を移転し充実したものとするため、教授陣の研究室を病院内に20室～30室程度確保する計画ももっています。これらの実現のためには、行政機関そのほかとの協議も残されており、現段階では検討課題のままです。さらに予防医学についても、人間ドックを充実するためかなりのスペースが必要となり、これらを総合的に勘案すれば現段階では199床以上ベッド数を増床する余地は無いと考えます。

したがって、地元医療機関とは、バッティングするよりむしろ連携やネットワークが構築できる特色のある病院づくりを目指し、地域水準の高い百道浜地区の医療に貢献できるものと確信しています。そのほかの診療内容につきましては、目下検討中ですが、地域の医療ニーズを調査して、地域医療の発展に繋がる先進医療の分野にも進出していきたいと思えます。

最後に地域に対する環境面の取り組みですが、各施設ごとに想定される環境面の対応について述べさせていただきます。

まず、学校施設ですが、専門学校・大学院に通学またはキャンパスで集う学生数は1,000名程度を想定しています。学生の通学については、バス・地下鉄による公共交通機関の利用を指導し、特に小学校の通学児童に対する交通安全面への特段の配慮をする考えです。

また、自転車についても、駐輪場を設置し、マナーの徹底を図っていきたいと思えます。

さらに、キャンパスに集う学生についても近隣住宅地への騒音・ゴミ捨てなどモラル面での指導についても周知徹底を行いたいと思えます。

次に病院・福祉施設を訪れる患者、利用者などの方々についても、児童通学路の安全確保のための注意喚起を適宜呼びかけていきたいと思えます。また、近隣への不法駐車禁止についても注意を払っていきたいと思えます。

当グループは、既存のほかの施設において学生や施設利用者と住民との間に大きな事故・トラブルが発生した事例は特に無く、これらの問題については、今後様々な環境問題が絡んでくることが想定されるため、住民の方々との綿密な情報交換が必要であると考えています。

本日の説明会は、冒頭申し上げました、私共事業予定者が今後、実施計画を策定していくための方向性を現段階で、地元住民代表の皆様方と共有し、信頼関係を築く礎となるための初会合として、今後諸問題につきまして、誠意をもって、真摯に対応させていただく所存でございます。行政各機関や様々な各団体とも今後話し合いの場を持ち、信頼関係を前向きに構築していきたいと考えていますので、どうか本説明会を契機に、これからの事業計画と当グループについてのご理解、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。